

|     |          |     |                       |    |    |     |   |
|-----|----------|-----|-----------------------|----|----|-----|---|
| 科目名 | 英語圏文化論特講 | 担当者 | イノ<br>猪野<br>ケイヤ<br>恵也 | 期間 | 通年 | 単位数 | 4 |
|-----|----------|-----|-----------------------|----|----|-----|---|

【科目概要】

|              |   |     |  |
|--------------|---|-----|--|
| 目的           | <p>アイルランド文学はおおざっぱにあって、ゲール語で書かれた文学と英語で書かれた文学(アングロ・アイリッシュ文学)に分かれる。この科目ではアングロ・アイリッシュ文学を扱う。英米文学と比べてアングロ・アイリッシュ文学はマイナーな分野に見られがちだが、探してみると実は豊かな水脈が流れている。アイルランド文学史を学び、かつ二つの作品を実際に読み、英米文学一辺倒の文学(史)観に揺さぶりをかけ、英語圏文学に対する広い視野を養っていきます。</p>   |     |  |
| 到達目標         | <p>【一般目標 (GIO)】<br/>アングロ・アイリッシュ文学の基本的な概要を理解し、英米文学史に対する見方を変える。<br/>【行動目標 (SBOs)】<br/>・アングロ・アイリッシュ文学の概要を知ることができる。<br/>・原書の精読を通じて英語に対する「気づき」を養うことができる。</p>   |     |  |
| 学修方略<br>(方法) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】<br/>・manaba folio を利用してインタラクティブな個別指導を行う。<br/>【学修方略 (LS) と学修時間】<br/>(自習) 教材と参考図書の熟読<br/>(自主研究) 『アイルランド小文学史』では各トピックの特徴の把握、原書精読では英語をしっかりと読み込む<br/>(レポート作成) レポートの執筆<br/>ポート1通の完成まで45時間の学修時間を要する。(自習・自主研究・レポート作成)<br/>学修時間: ・教材と参考図書の学修:20時間 ・レポート執筆:10時間<br/>・教員の添削指導及び最終稿の完成:15時間</p> |     |  |
| スケジュール       | <p>前期<br/>・レポート課題1 締切:6月末(初稿) 最終提出期限: 学事歴で定められた日までに提出する<br/>・レポート課題2 締切:8月末(初稿) 最終提出期限: 学事歴で定められた日までに提出する<br/>後期<br/>・レポート課題1 締切: 10月末(初稿) 最終提出期限: 学事歴で定められた日までに提出する<br/>・レポート課題2 締切:12月末(初稿) 最終提出期限: 学事歴で定められた日までに提出する</p>   |     |  |
| 成績評価         | 種別  | 割合  | 評価基準   |
|              | レポート  | 80% | 大学院では完成したレポートすなわち結果がすべてといえます。教材の理解度、課題に対して応えているかで評価する。 |
|              | 観察記録  | 20% | レポート添削に対する応答。レポートの提出がない場合は評価しません。                      |
| 履修者への要望      | <p>・通信授業(在宅学習)のレポートは、初稿から最終稿まで教員のフィードバックによって書き直し及び推敲、そして最終稿と段階的に進めていきます。<br/>・原書講読(精読)を進める際、構文が取れないなど英文読解に困難が生じたら教員に連絡すること。<br/>・引用のルール、註の付け方、参考文献の挙げ方などフィードバックの段階で指摘しますが、これらの作法をよく守ること。</p>  |     |  |

【レポート課題】

| 基本教材 1   |   |
|----------|---|
| 教材の概要    | <p>著者名： シェイマス・ディーーン<br/>           教材名： (1) 『アイルランド文学小史』(国文社、2011年)<br/>           ISBN:978-4-7720-0532-6 4000円(税込)</p> <p>著者名： Maria Edgeworth<br/>           教材名： (2) <i>Castle Rackrent</i> Oxford World's Classics<br/>           ISBN:978-0-19-953755-6 766円(税込)</p> <p>『アイルランド文学小史』はアイルランド文学をコンパクトにまとめたものです。原名で人名、作品名、用語名などを知る必要があるため、原書を逐一参照することが望ましい。2000年代以降のアイルランド文学はフォローしていないが、基本をしっかり学ぶことができる。<br/> <i>Castle Rackrent</i>(1800)には Penguin Classics など他にも版があるので入手可能な版で結構です。<i>Castle Rackrent</i> を読むとビッグ・ハウスの当主の浮き沈みがわかります。Hiberno-English がしばしば登場するのですが、原書にも註が載っています。</p> |
| 参考図書     | <p>(1) Seamus Deane <i>A Short History of Irish Literature</i> U of Notre Dame P ISBN:0-268-01751-4 635円(税込)<br/>           (2) 尾島庄太郎・鈴木弘『アイルランド文学史』(北星堂書店、2003年) ISBN:4-590-00499-2 1700円(税込)<br/>           (3) 上野格・森ありさ・勝田俊輔編『アイルランド史』(山川出版社、2018年) ISBN:978-4-634-46206-9 6500円(税別)</p>   |
| 履修上のポイント | <p>アイルランド文学(史)の理解を深めるためにアイルランドの歴史と地名をあらかじめよく学修しておいてほしい。<i>Castle Rackrent</i> を読む際、辞書をしっかり引き、精読に努めること。英文でわからないところがあれば遠慮なく質問してください。原書講読(精読)が大学院での学修の基本である。</p>   |
| レポート課題 1 | <p>『アイルランド小文学史』の第一章から第四章を読み、それぞれの章の要約をせよ。(本文のみ 3500字から 4000字)<br/> <b>留意点：</b> 各章のテーマの特徴、例えば「十九世紀の小説」ならばその特徴を見逃さないでほしい。</p>   |
| レポート課題 2 | <p><i>Castle Rackrent</i>(1800)をよく読み、内容の要約をし、この作品に対してどんな問い(作品に対する切り口やアプローチ)を呈することができるのか述べて。(本文のみ 3500字から 4000字)。<br/> <b>留意点：</b> 問いは複数考えられます。例えば、Thady の語りの特徴、地域小説としてなど</p>  |

| 基本教材 2   |  |
|----------|--|
| 教材の概要    | <p>著者名： シェイマス・ディーーン<br/>           教材名： (1) 『アイルランド文学小史』(国文社、2011年)<br/>           ISBN:978-4-7720-0532-6 4000円(税込)</p> <p>著者名： Elizabeth Bowen<br/>           教材名： (2) <i>The Last September</i> Anchor Books ISBN:0-385-72014-9 1417円(税込)</p> <p>『アイルランド文学小史』はアイルランド文学をコンパクトにまとめたものです。原名で人名、作品名、用語名などを知る必要があるため、原書を逐一参照するのが望ましい。2000年代以降のアイルランド文学はフォローしていないが、基本をしっかり学ぶことができる。<br/> <i>The Last September</i> には版が各種あるので入手可能な版で結構です。英語文体がやや難しいので辞書をしっかり引いて読んで欲しい。</p> |
| 参考図書     | <p>(1) Seamus Deane <i>A Short History of Irish Literature</i> U of Notre Dame P ISBN:0-268-01751-4 635円(税込)<br/>           (2) 尾島庄太郎・鈴木弘 『アイルランド文学史』(北星堂書店、2003年) ISBN:4-590-00499-2 1700円(税込)<br/>           (3) 上野格・森ありさ・勝田俊輔編『アイルランド史』(山川出版社、2018年) ISBN:978-4-634-46206-9 6500円(税別)</p>   |
| 履修上のポイント | <p>アイルランド文学(史)の理解を深めるためにアイルランドの歴史と地名をあらかじめよく学修しておいてほしい。<i>Elizabeth Bowen</i>(1899-1973)はあまり読まれなくなった作家ですが、英語文体が魅力的な作家です。英語を読んでわからないところがあれば遠慮なく質問してください。原書の精読が大学院での学修の基本です。</p>   |
| レポート課題 1 | <p>『アイルランド小文学史』の第五章から第八章を読み、それぞれの章の要約をせよ。(本文のみ 3500字から 4000字)<br/> <b>留意点：</b> 各章のテーマの特徴、例えば「アイリッシュ・モダニズム小説」ならばその特徴を見逃さないでほしい。</p>   |
| レポート課題 2 | <p><i>The Last September</i>(1929)をよく読み、内容の要約をし、この作品に対してどんな問い(作品に対する切り口やアプローチ)を呈することができるのか述べて。(本文のみ 3500字から 4000字)。<br/> <b>留意点：</b> 問いは複数考えられます。ビッグ・ハウスの観点から、英語文体の観点からなど。</p>   |

### 基本教材 1

|        |  |
|--------|--|
| 第 1 回  | 教材の学修(『アイルランド文学小史』第一章と第二章)                                       |
| 第 2 回  | 教材の学修(『アイルランド文学小史』第三章と第四章)                                       |
| 第 3 回  | レポート課題 1:初稿作成  |
| 第 4 回  | レポート課題 1:添削指導及び修正稿の作成  |
| 第 5 回  | レポート課題 1:最終稿の作成  |
| 第 6 回  | 教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> の精読(英和辞書をよく引いて読むこと)                |
| 第 7 回  | 教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> の精読の際、英文の構文などわからないことをまとめておく        |
| 第 8 回  | 教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> の精読の際、アイルランドの歴史的背景などわからないことをまとめておく |
| 第 9 回  | 教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> が総合的に理解できているかどうか確認する               |
| 第 10 回 | 教材の学修: <i>Castle Rackrent</i> についてわからないことなどを質問し、教員が回答する          |
| 第 11 回 | レポート課題 2 の作成にあたり、構想を考える  |
| 第 12 回 | レポート課題 2:初稿作成  |
| 第 13 回 | レポート課題 2:添削指導及び修正稿の作成  |
| 第 14 回 | レポート課題 2:最終稿の作成  |
| 第 15 回 | レポート課題 1・2 を通じた学修の振り返り。特に <i>Castle Rackrent</i> が読めているかどうか再確認する |

### 基本教材 2

|        |   |
|--------|---|
| 第 1 回  | 教材の学修(『アイルランド文学小史』第五章と第六章)  |
| 第 2 回  | 教材の学修(『アイルランド文学小史』第七章と第八章)  |
| 第 3 回  | レポート課題 1:初稿作成   |
| 第 4 回  | レポート課題 1:添削指導及び修正稿の作成   |
| 第 5 回  | レポート課題 1:最終稿の作成   |
| 第 6 回  | 教材の学修: <i>The Last September</i> の精読(英和辞書をよく引いて読むこと)                |
| 第 7 回  | 教材の学修: <i>The Last September</i> の精読の際、英文の構文などわからないことをまとめておく        |
| 第 8 回  | 教材の学修: <i>The Last September</i> におけるアイルランドの歴史的背景などわからないことをまとめておく   |
| 第 9 回  | 教材の学修: <i>The Last September</i> が総合的に理解できているかどうか確認する               |
| 第 10 回 | 教材の学修: <i>The Last September</i> についてわからないことなどを質問し、教員が回答する          |
| 第 11 回 | レポート課題 2 の作成にあたり、構想を考える   |
| 第 12 回 | レポート課題 2:初稿作成   |
| 第 13 回 | レポート課題 2:添削指導及び修正稿の作成   |
| 第 14 回 | レポート課題 2:最終稿の作成   |
| 第 15 回 | レポート課題 1・2 を通じた学修の振り返り。特に <i>The Last September</i> が読めているかどうか再確認する |